

会議録

会議名 (審議会等名)	第5期第7回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	令和元年8月27日(火) 10時00分～12時02分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)	
	その他	都市計画課 3人	
	事務局	15人(南区長、副区長、他13人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定について</p> <p>4 議題 (1) 南区基本計画の素案について (2) 第5期南区区民会議のテーマと取組(案)について (3) 無作為抽出型区民討議会について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。(は会長、 は委員、 は事務局等の発言)

1 開会

2 会議の公開について

(1) 傍聴の許可について

傍聴希望者なし

松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

3 報告

(1) 次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定について

資料に基づき都市計画課から説明。

立地適正化計画と都市計画マスタープランの関係性を伺いたい。

立地適正化計画は、都市計画マスタープランの一部である。都市計画マスタープランで相模原市全体の構造などがあり、その中でさらに長い将来を見たときの居住や都市機能を誘導していく具体策として、位置付けていくイメージである。

立地適正化計画で都市機能誘導区域や居住誘導区域の指定がかかる場合、指定された区域において、用途地域の容積率等の変更はあるのか。また、大野南地区内は地区計画を持っている地区が3カ所あるが、地区計画への影響について伺いたい。

立地適正化計画が策定されることによって、現行の規制を直接その理由だけをもって変えるものではない。現行の都市計画の制限は現行のまま、この計画が加わっていき、それによって規制ではなく、誘導支援を進めていくものである。

パブリックコメント以外に質問や意見を吸い上げる機会や、きめ細やかな説明をする機会を考える必要があるのではないか。

都市計画マスタープランと立地適正化計画の計画期間はどのようになっているか。

都市計画マスタープランは、概ね20年後までを見据えつつ、これまで10年に1度、見直しをして策定してきた。立地適正化計画については、5年に1度、見直しをしていきたいと考えている。

小田急線相武台前駅は座間市に位置しているが、北側の大部分は相模原市であり、相武台区の住民が多く利用している。駅が座間市であるためか、都市機能誘導区域に指定されず、商店街も段々衰退し、居住のためだけの場所になるように感じる。

小田急線相武台前駅の周辺には商業地域が一部あり、その位置づけを変える予定は現時点ではない。都市機能誘導区域については、長い目で見て誘導をしていきたいというものではあるが、まだ南区の駅周辺については、市として緊急に何かをしなければいけないという状況ではない。また、駅周辺には店舗などの民間事業者は比較的自由に立地ができるような状況である。

区切りは相模原市と座間市であるが、暮らしている人には何市であろうが関係はない。暮らしをベースに、隣のまちとの連携を図っていく必要がある、そうしていかないとまちの魅力が落ちていくことになる。

東林地区と大和市の境の東林ふれあいの森と大和市側の保存林を、将来的に県立公園にする構想があると聞いている。都市計画マスタープランでの位置付けはどのようになっているか伺いたい。

都市計画マスタープランの中で、環境と共生する都市づくりの方針を掲げており、その中で、大和市との連携等も考慮して、東林ふれあいの森を「みどりの拠点」として位置付けている。相模大野駅周辺では伊勢丹が撤退し、コリドー通りが行き止まりになってしまうことが懸念されているところであるが、相模大野駅周辺が衰退していくことがないように、都市機能を誘導する施策をしっかりと考えて欲しい。

まちづくりは時間も手間もかかるものであり、簡単にはいかないものである。まちの人たちが自分たちのまち・自分たちの計画と思わないと、気にしなくなってしまう。そのためには、策定プロセスも含めて、説明や意見聴取の場などに配慮して欲しい。

高齢化が進んでいる中で、計画を5年や10年で見直しをして進めていくと、その状況に追いついていくことが大変ではないか。計画を進める頃には誘導区域が高齢者ばかりになってしまうので、その状況を考慮しながらスピード感を持って取り組んで欲しい。

4 議題

(1) 南区基本計画の素案について

資料に基づき、事務局から説明。

ごみ問題や不法投棄について、マナー違反のことに加えて、環境保全の姿勢を追加した方が

良い。

マイナンバーカードの普及について、追加したほうが良い。

まちづくりは大きい柱が2つあると考えている。1つ目の柱は、広い意味での利便性であり、南区基本計画の素案でいうと、まちづくりの取組方針 ~ と が該当する。もう1つの柱は共生であり、まちづくりの取組方針 と が該当する。住んでいて、他の人たちと共に生きているという感覚を創り出していかないと、長く住まないで出て行ってしまう。まちづくりの取組方針 と が深く係わりあっているところがあるので、整理をした方が良い。

取組項目によっては、様々な取組方針に関わっているものがあるが、割り切れないため、比重の大きい取組方針の中に整理をしている。計画の推進に当たっては、取組方針ごとの関連を考えて運用をしていって欲しい。

今後のスケジュールについて伺う。

10月15日に、南区基本計画を答申していただく予定である。その後、庁内で答申を基に検討し、パブリックコメントや市議会への説明を経て、来年2月を目途に策定をする。

今後、総合計画や他区計画とレイアウトや表現方法について整合を図らせていただく。

南区区民会議として答申をしたものを基に、最終的には市が責任を持って検討し、策定するものである。南区区民会議の答申を大事にしてもらい、成案になるように一緒に取り組んでいきたい。

(2) 第5期南区区民会議のテーマと取組(案)について

資料に基づき、事務局から説明。

あと7回程度の会議の中で、第5期の具体的な成果を出したいと思う。「世代間交流の促進のための仕組みづくり」が第4期からの検討課題である。第5期では、その取組を引き継いで、1つ目は、「南区流ファシリテートスキル」を作成していきたい。そのためには、実践の場を作っていかななくてはならない。例えば、ファシリテートの様子を動画にすることも一つの成果になると思う。2つ目は、地域活動へのスポット参加の仕組みの検討であり、来年の夏のイベントでの実践を目指して検討したい。3つ目は、高校生がまちづくりに参画するための課題調査である。これまで大学生の参画については、仕組みを検討しているが、高校生の状況については、まだ行っていない。参画するに当たっての生徒や先生の抱える課題についての調査を行いたい。

南区では、女子美術大学があって、会議でのグラフィッカーを担う技術があるので、南区流

ファシリテートスキルには、そのような南区の強みを入れていきたい。

昨年度、相武台地区のまちづくり会議に南区若者参加プロジェクト実行委員会にファシリテーターとして参加をしていただいた。初めは、他の委員に必要性を理解され難かったが、1度会議を行うと、話し合いが活性化し、参加を求められるようになった。

先日、盛岡のNPOの会議に参加し、一般市民の方、若い世代、ジャーナリスト、医者などの色々な人とディスカッションをした。ファシリテートというと難しく感じるが、実際にやってみると非常に楽しかった。

市職員の中にファシリテーター的な知識を持った人はどれくらいいるのか。市職員の資質としても非常に大切なことだと思っている。

人数については把握していないが、ファシリテーターのスキルは市職員としても非常に大切であると承知しており、市の職員研修所でも取り組んでいくように伝えていきたい。

地域活動へのスポット参加の仕組みの検討と高校生のまちづくりへの参画については、連携して検討しても良い。学業等を考えると継続性を求めることは厳しいと思われるので、スポット参加ならできるのではないかな。

高校生が2カ年に渡って参加することは難しいと考えられるので、スポット参加の仕組みになる可能性はある。

世代間交流促進のための仕組みづくりは、より具体的に長く取り組めば、次第に色々な交流の案や方法が出てくるのではないかな。また、その下の世代が気軽に参加できるように、スポット的な参加があれば交流が進んでいく。

各地域の祭りは昔から開催されており、その地域に共生している・一緒に住んでいるという意識として一番強いものだと思う。そこで、ホームページを作るなど、各地域の祭りが説明された情報があると良い。他の地域の祭りがどんなことをやっているかわからないので、情報提供することによって、若い世代が参加する可能性があるし、アイデアが出るかもしれない。

若い世代の参加も重要であるが、元気な高齢者を仕組みの中に取り込んでいけるかも課題である。民生委員・児童委員や消防団についても、将来の担い手が不足しており、ボランティアで行うことは難しくなっている。

残りの開催回数を考えると、3つの事業は難しいのではないかな。地域活動へのスポット参加に関しては、働く世代や元気な高齢者を対象にしながら、今ある既存の行事の中に参加するなど、試行的に取り組んでみて、意見を吸い上げるということは非常に良い取組である。「南区流ファシリテートスキル」の作成もこれまでの取組とリンクするので良い。高校生のまち

づくりへの参加の課題調査が、全体のスケジュールの中で実施することは大変ではないか。第5期の中で完結させることは難しいので、内容によっては、第6期に引き継いでいけると良いと考えている。

例えば、「南区流ファシリテートスキル」の作成の取組についての実際の作業は、地域の人たちや南区若者参加プロジェクト実行委員会が実践をし、区民会議で検討をすることになると思う。できるだけ、第6期に引き継ぎやすいように準備をしていきたい。

このような取組を進めて、つながりができることによって、防犯意識も高めていきたい。

さがまちコンソーシアムでは中高生向けのイベントをよく行うが、人の集め方やどのように興味を持ってもらうか、非常に苦労している。高校生へのアンケートを作成する際には、どこかの高校をピックアップして、事前に内容を相談すると良い。

(3) 無作為抽出型区民討議会について

資料に基づき、事務局から説明。

無作為抽出型区民討議会については、これまでも運営委員会で内容について検討していただいている。区民会議委員も参加しているので、連携を取りながら進めていきたい。

5 その他

- ・委員から、ユニコムプラザまちづくりフェスタの開催案内。
- ・委員から、相模原よさこいRANBU!の開催案内。
- ・委員から、相模大野ふるさとまつりの開催案内。
- ・事務局から、伊勢丹相模大野店の閉店に伴う、公共歩廊についての情報提供。
- ・事務局から、次回の日程について、10月下旬に開催する旨報告。

詳細の日程、会場については、後日送付する。

6 その他

坂本副会長の挨拶のあと、閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	森 逸雄	大野中地区まちづくり会議 会長		出席
2	大木 恵	大野南地区まちづくり会議 会長		出席
3	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議 会長		出席
4	穂刈 健二	新磯地区まちづくり会議 会長		欠席
5	篠塚実希子	相模台地区まちづくり会議 副会長		出席
6	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議 会長		出席
7	古木 昇	東林地区まちづくり会議 会長		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会 会長		出席
9	中村 方子	相模原市民生委員児童委員協議会 会計		欠席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長		出席
11	中島 千尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
12	古田 政子	子育て親育ち応援団 With.cfc 副代表		欠席
13	杉本 祥一	相模原商工会議所 常議員		欠席
14	九嶋 俊彦	相模原青年会議所 2018 年度拡大委員会委員長		欠席
15	井部 弥生	相模原市民文化財団 総務課長		出席
16	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 会長	副会長	出席
17	松下 啓一	相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー	会長	出席
18	飯村 和道	女子美術大学 名誉教授		出席
19	田中 美加	北里大学看護学部 教授		出席
20	安藤 晴敏	公募委員		出席
21	原田 征士	公募委員		出席
22	横山 真琴	公募委員		欠席
23	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム 業務部部長補佐 市民・大学交流センター 所長		出席
24	大坂 里智	南区若者参加プロジェクト実行委員会		出席
25	牧野 里咲	ジェイコムイースト相模原・大和局		欠席